

平成二十五年度支部研修旅行

「飛騨路の旅」

日時 平成二十五年十月二十七日（日）

参加者 八十二名

朝八時に一宮を出発。東海北陸自動車道・中部縦貫自動車道を走り、高山市の「光記念館」に到着。「手島右卿記念室」と「上村松園と清方・深水」特別展を中心に鑑賞しました。

その後、高山グリーンホテル天領閣にて懇親昼食会。午後からは、

高山の古い町並みを自由散策し、深まり行く秋を満喫しました。

平成24年 支部研修旅行

— 飛鳥路の旅 —

記録部長 後 藤 蘇 月

▼日時 平成二十四年十月二十八日(日)

▼行先 飛鳥路

前日からの予報どおりの雨の中、早朝より、バス二台を連ね、相談役の先生方、則武支部長始め六十九名の参加で「飛鳥路の旅」に出発です。

まずは、奈良葉師寺に着き小雨の中、美しい龍宮造りの金堂、葉師三尊堂、雄大な大講堂等を各自興味深く拝観しました。その後、お楽しみのおやつ「奈良パークホテ

ル」での美味しい会席料理に舌鼓、和気あいあいと支部の皆様との交流に堪能しました。

午後からは、奈良国立博物館で開かれている古都奈良に秋を告げるといわれる「正倉院展」へ移動です。国宝を一目見ようとすると人達で大変賑わっていました。まずは、聖武天皇ご所持にふさわしい螺鈿紫檀琵琶と深紅の

紅牙撥鏤鏝に注目です。又、うっとりするような輝きのコバルトブルーの瑠璃坏には、シルクロードの果てを想い起こしました。それぞれの想いを胸にその後は、奈良公園周辺を自由散策です。ほぼ雨も上がり東大寺、大仏殿を拝観したり、日下部鳴鶴先生書の碑を見学したり、お土産を買い求めたり、それぞれ楽しい時間を過ごしました。

飛鳥の地を巡り、千三百年前からの歴史に触れ、やすらぎの一時を感じた旅でした。そして何よりも大雨にならず無事に研修旅行を終えられたことを感謝しました。

平成23年 支部研修旅行

— 伊勢路の旅 —

連盟部長 大塚 菖 苑

▼日時 十月二十九日(土)

▼行先 伊勢路

十月二十九日早朝、一宮市役所尾西庁舎出発。名鉄一宮西口に寄り、バス二台、相談役の先生方、則武支部長始め参加者六十六名で、「伊勢路の旅」に出掛けました。

鷺野先生の細やかで綿密な計画で、発車途端酒盛りが：和気藹々楽しい旅のスタートです。

途中、お酒のせい？年齢のせい？予定外のトイレ休憩もし、神宮博物館着。我

が国を代表する作家から奉納された美術、工芸品が展示されている美術館を参観、

十月の催しは、「心とかたち」と題する、女性にとつ

て興味深い着物の染織又金工作家の美しい作品をゆつ

くり観ることが出来ました。そして一番の楽しみ「千

の杜」にて会席料理。てこね寿し、伊勢うどん等名物

料理も盛り込まれた美味しい料理に満腹満足！そして、

「お伊勢さん」内宮を参拝しました。

東海地方の人は、行った

事のない人はまずおられない、親しみ深い神社。神域は、巨大な樹木がうつそうと茂ってひっそりと静まり、千古の老杉の木の間に洩れて玉砂利の参道に届く清々しい日射しは、日常の俗世界から解きはなして何か人間の本心に立ち帰らせてくれる様です。

神宮一二五社。宮域は約五五〇〇ヘクタール伊勢市の約五分の一を占める広さ、とのこと。時間をつくり、伊勢路をひとり気ままに歩いてみたいな・・・と。でもやはり門前町「おかげ横丁」に立ち寄らない訳にはいきません。あれほどたら腹食したにもかかわらず、立食いする人、赤福等土産を手

にする人、自由に散策し、往路と同じ行程で幸せ気分に戻ってまいりました。計画担当の先生方に感謝！

平成22年

支部研修旅行

「古都・金沢の旅」

連盟副会長(研修会担当) 村田光 終

▼日時 十月三十日(土)

▼行先 金沢

「弁当忘れても傘忘れるな」と、言われている北陸の天候。気に掛けていた上におまけ付の台風接近。心配の中、早朝より、バス二台を連ねて、金沢に向かいました。

午前中は、まず「ひがし茶屋街」へ。石畳の通り沿いに金箔や和風の小物店、旧家等が立ち並び、祇園の一角を思わせる情調。また

機会あれば、ゆっくり回つてみたいと思わせる町並みでした。次に、卯辰山からの市内展望。卯辰山は、金沢城から見えて卯辰の方向、東に位置する事から名付けられた山。小雨の中の薄墨色の景観は、幻想的な風情を醸し出していました。その後、工芸工房で、金沢ゆかりの工芸品や焼物を鑑賞し、係員の方の御熱心な説明と共に、金沢は、芸術に理解ある意欲的な市であることに刺激を受けました。

午前の行程が終了し、楽しみの昼食へ。気品ある美味しい加賀料理を頂き、お酒を酌み交し、暫し、寛ぎの時間を過ごしました。

午後からは、各々、「兼六園」「長屋町武家屋敷」「金沢21世紀美術館」等、市内を自由散策し、最後に金沢の台所、「近江町市場」へと、バスは向かいました。アーケード内に、ずらりと並んだ生鮮食料品店の中から、日本海の香りする御土産を、沢山、買い求め、帰路に着きました。

気に掛けていた天候も、暴風や大雨の悪影響も無く、無事に終了出来ましたことは、一番の幸いでした。